



学校だより

狛江で育ち狛江一中で学んだことを
生涯の誇りにできる生徒の育成
6月号 令和3年6月1日

狛江市立 狛江第一中学校

狛江市和泉本町2-15-1
TEL 03 (3480) 0121

体育祭に向けて

校長 吉田 知弘

待ちに待った体育祭が6月5日(土)に開催されます。2年ぶりの開催に向け、生徒たちの期待感も日に日に高まり、そのエネルギーが体育の授業はもちろん、学年練習や放課後の練習・準備など多くの場面に表れています。今年度の体育祭は、残念ながら毎年行っていた競技等をすべて例年通りに実施できるわけではありません。少しでも「密」を避けながら、また感染症対策をより一層徹底させながらの競技、応援、大会運営等となりますので、一昨年度までと比べ少し規模は小さくなります。保護者の皆様にも来校者数の制限や応援場所の入れ替えなどをお願いすることになります。しかし、昨年度は行えなかったこの時期に、「体育祭」として開催できることはとても嬉しいことです。体育祭の開催にあたり、現在のコロナ禍の状況等をよく理解し、学校生活の様々な場面でたくさんの方の我慢を受け入れながらも、常に前向きな姿勢でその時々に行える最大の努力・頑張りを見せてくれた生徒たちに心からの賛辞を贈るとともに、日々の学校生活を支えてくださった保護者、地域の皆様にも心より感謝申し上げます。

今回の体育祭は、本校にとって今年度初めて全校生徒が一堂に会して行う行事となります。「体力向上」や「生涯スポーツへの礎」など体育的行事としての大きな要素もありますが、同時に学校行事としての「集団規律」「責任感」「達成感・自尊感情」などの醸成もその大切な実施目的に挙げられます。

3年生は唯一、本校の体育祭を知っている学年です。3年生の経験知と実績が今年度の体育祭を開催する上での「柱」となります。最上級生としての自覚と後輩たちを引っ張るリーダーシップが体育祭の成功には不可欠です。一中の伝統継承と新しい1ページに向け、自信をもって取り組んで欲しいと思います。

2年生にとっては初めての一中での体育祭となりますが、来年度自分たちが新たな伝統を創造していくためにもとても大切な体育祭です。3年生の背中からたくさんの方のことを学ぶチャンスでもあります。これまで培ってきた仲間との絆をさらに深め、自分たちにとっても大きな飛躍の場として欲しいと思います。

1年生にとってももちろん初めての一中での体育祭です。中学校に入学して約2か月。初めてのことが続いています。こうした一つ一つの取組を通して一人一人が自分らしさを発揮しつつ、同時に仲間の長所を知り、みんなで学級あるいは学年という集団の絆を築いて欲しいと思います。

競技練習でも、様々な準備場面でも、それぞれの集団できっと多くの紆余曲折があるはず。しかし、その一つ一つを自分たちの力で乗り越え、当日、立派な姿、立派な演技を披露してくれることを期待しています。今年度初めての全校行事を全員の力で成功させ、体育祭後もその成長した姿を学校生活の多くの場面で見せて欲しいと思います。

生徒総会 ～一人一人が大切な生徒会会員～

5月10日（月）の5・6校時、総会会場である第3視聴覚室と各教室をリモート（Teams）で結び、生徒総会を行いました。今回は1年生のときに参加できた3年生が中心となって会を運営し、先輩としての立派な姿を1・2年生に披露する機会にもなりました。生徒全員が生徒会の精神である「一人はみんなのために」を理解し、生徒会・専門委員会の活動を「みんなのために」つなげていく確認ができました。各教室でも、生徒一人一人が立派な姿勢で参加している様子が数多く見られました。



全校生徒が一堂に集合

5月24日（月）校庭で、初めて全校生徒そろっての全校朝礼がありました。ソーシャルディスタンスをしっかりととり、縦横そろって整列しました。「教育実習生の紹介」と「生活指導主任の話」がありました。生活指導主任から「人・とき・ものを大切に」「どんな場面でも考えて行動できる人に」と話がありました。



体育祭へ向かって全力で練習中

5月24日（月）から体育祭練習が始まっています。縦割りクラスで士気を高め、どの学年も練習から本気で参加しています。校庭には、元気な掛け声や応援する声、ジャンピングエイトでは「ハイ、ハイ」とリズムをとる声などが響きわたっています。限られた練習時間の中で、体育委員を中心に、どのようにしたらよりよくなるかを考えて、練習に励んでいます。当日、練習の成果が発揮されることを期待しています。

